
想い

よう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

想い

【Zコード】

Z6824E

【作者名】

よひ

【あらすじ】

一度別れたカップル。またやり直すことになつたがオマケが付いてきた？

報われないくらい痛いほどわかってる。

この想いわあなたにだけ向かつているのに。

ねえ：あなたわ今だれを想つてるの…

健太…あたしが初めて心から愛した人。

けど…健太にはもう会えない。

あたしがあんなことをしたから。

あたしは健太の双子の弟渙太と浮氣をしてしまった。

理由は渙太にずっと未夢、ミユ、のことが好きだったと言われたから。

もちろん断つた。

けど渙太は泣きながら兄貴の次でいいからと言つた。

あたしはそんな渙太に断るなんて出来なかつた。

そして寝た。

あたしはその罪悪感に対切れず、健太に打ち明けた。あたしは健太ならわかってくれると思ってた。だけど実際はわかってくれるはずもなく別れを告げられた。

あたしは健太にいっぱい謝つて、謝つて、謝つて、やり直したいと言つた。

健太は黙つて出てつた。

もうこの恋は報われないものになつてしまつた。

あたしは泣いて、泣いて涙が枯れるまで泣いた。

そして、あたしは何度も何度も、渙太と寝た。
渙太のことを愛してたわけぢやない。ただ寂しいだけだった。
もうこんな関係駄目だと思つた。

渓太に申し訳ない。

『渓太、もうこんな関係やめよう。』

何で？？

中 溪太に悪い。

それでもいい。それでもいいから、兄貴何か忘れてくれよ。俺に

二九〇

『ごめん。あたしは健太のこと忘れるなんて無理。あたしはいつも顔とか体で選んでた。てゆうか選ばれてた。心ぢやなくて顔。体。みんなただあたしと寝たいだけ。だけど健太は違つた。心であたしを選んでくれたの。初めてあたしのことを心で選んでくれた人なの。あたしも健太のこと心で選んだ。健太はあたしにとつて初めて心から愛した人なの。』

『俺だつて心だよ。お前のその心で好きになつた。真つ直ぐで純粋な心。気が強いくせに優しい心。思いやりのある心。全部好きだ。』

『變形記』。《金瓶梅》。《孽海花》。

太溪

ギン

二〇四

未夢

『ウツクシ』

『えつ』

『知』

け
ん
た。

四庫全書

ごめん やへり未夢ちゃんさきや俺

『健太…。』

『今から会えない??いつもの喫茶店にいるから』

『わかつた。』

『兄貴何だつて??』

『今から会えないかつて。』

『はあ??行くのかよ!??』

『……うん。』

『今俺と寝ようとしてたの!!??!!』

『……ごめん。』

『俺も行く。』

『だめ。』

『嫌だ。』

『だめ。 あたし一人で行く。 ついてきちゃだめだからね!!』

ガチャ

『くそ!! 何で今帰つてくんだよ!!!! くそ兄貴が!!!!』

『くそ!!』

『ちつ。俺も行つてやる。どうせいつものサ店だろ!!!! くそ!!!!』

『くそ!!』

『健太!!!!』

『未夢……ごめんな急に。』

『大丈夫。』

『……俺達……やり直さないか?? 黙つて出てつたのに……ごめん。 だけどやり直したいんだ!!!!』

『……あたしもやり直したい。』

『ぢゃあ『待つて!! 話があるの』

『わかつた。』

『あたし健太と別れてから何度も渙太と……寝たの。 愛してたわけぢやなくて……寂しくて。 けど渙太に悪いと思つたの。 だから今日こん

な関係やめようって言つた。でも健太を忘れろって言われた。あたしには健太を忘れるなんて無理だつた。初めて心から愛した人だから。忘れられたらどんなに楽か。あたし…そのま…ま…流れで電話…が…くる…ちよつと…前…に渓太…と…ね…寝よ…うと、…し…したのつ…!…ごめんなさい…!…もうやり直したくなくなつたのならあたしは…諦める。

『いいんだ。』

『へつ? ?』

『それでも俺は未夢とやり直したい。』

『健太…あり…がと…う。』

『愛してる。別れるまえから気持ちは変わつてない。愛してる。』

『あ…たしも、愛してる。』

『そーゆーことかよ。』

『渓太。』

『渓…太…!…じめん…あたし…』

『何でだよ!…さつきまで俺と寝よつとしてたのに…!…』

『…じめん』

『全部俺が悪いんだ!…未夢を攻めないでくれ…!…』

『嫌だ。未夢!…!…』

『…ん!…!…やつ…はあ…や…はあ…』

『未夢!…!…』

『…はあ…はあ。』

『大丈夫? ?』

『クつ

『良かつた。』

『……だ…めだ。あたし渓太をほつとけない。だけど健太を愛して
る。』

『ぢぢや3Pでいーぢぢやん』

『でもツ

『いーよ。俺はそれでも。

『ぢや決まりだな！！兄貴には負けないぜツー！』

『俺だつて負けねえ。』

『何か二人とも燃えてない？？』

『全然燃えてない』

『！？？？』

『アハハハハ！！ハモつたあーーー！』

『はもんなボケツ！！』

『お前こそ！！』

『アハハハハ』

e
n
d

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6824e/>

想い

2010年12月18日22時31分発行